

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	都市漁村交流支援事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	熟成 市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'02	2まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
漁業・海業が振興し、市民の漁業や海に対する理解が深まっています。		市民の漁業や海に関わる機会を拡大するため、各種海洋レクリエーションイベントや地獲れ魚の直販会の開催を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	都市漁村交流イベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	12	12	12	12	
	実績	11	15	13		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	都市漁村交流イベント参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	400	400	400	400	
	実績	400	680	500		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況		: 予定どおり				
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
小学生による体験乗船、子ども環境教室や、新港での直売会、船釣り体験を含んだ婚活ツアーを支援し、漁港施設の利用促進や海洋レクリエーションの活性化に取り組むことができました。						
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	イベントを実施することで市民への漁業や海に対する理解が深まり、親しまれる漁業の推進や漁港施設の利用促進に寄与しています。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	子ども環境教室や相模湾海遊体験等は、漁業や海に対する理解や関心を高める上で有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	体験乗船等のイベントは漁業者が主体的に行っており、子ども達への説明も経験によるものが多く説得力があり、わかりやすい説明がなされています。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	平塚市漁業協同組合が専門性を生かし、効率的かつ効果的に実施しているので、行政は支援する体制をとっています。	高中低
今後に向けた課題の分析 市民の漁業や海に対する理解を一層深めるために、交流事業の内容拡充を図る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援	海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援	海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援	海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 交流事業の対象ターゲットを明確にし、開催時期や時間をはじめ、事業内容をブラッシュアップするとともに、新しく連携できる関係団体も併せて模索していきます。
課長コメント 婚活ツアーやバイクのツーリングと絡めた海遊クルーズの導入など、新たな事業展開が図られました。今後も関係機関・団体との連携を強化しながら事業を推進します。